

事業活動温暖化対策計画に関する事項

新規 変更

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	熊本県熊本市北区大窪一丁目6番1号				
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	KMバイオロジクス株式会社 代表取締役 永里 敏秋				
事業概要	製造業 化学工業				
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	29,194	kl	
	<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数		台	
	<input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者				
計画期間	令和1年度～令和3年度				
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針	KMバイオロジクスは、自らの事業が豊かな自然の恵みの上に成り立っていることを認識し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。そのために、地球環境と事業活動との調和を図り、環境に配慮した企業経営を推進していきます。				
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制	省エネワーキンググループ 環境マネジメントシステム名称 適用範囲 取得年月日				
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容	1. エネルギー削減を効果的に進めるため、設備毎のエネルギー使用量実績の前月比較・前年同月比較と増減要因に関し情報共有を行います。 2. スチームトラップの定期的整備とエアコン屋外機のフィン清掃を定期的実施し、蒸気ロスの削減とエアコンの運転効率アップを図ります。 3. 事務部門での空調設定温度は冷房時28℃、暖房時20℃を基本とします。				
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(A) (30)年度	前年度の実績 ()年度	目標年度(B) (3)年度	増減率 ((B-A)/A)
		55,961 t-CO ₂	t-CO ₂	60,000 t-CO ₂	7.2%
	原単位温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率 ((D-C)/C)
	0.232 原単位 当たり t-CO ₂	原単位 当たり t-CO ₂	0.249 原単位 当たり t-CO ₂	7.3%	
	原単位の考え方		延べ床面積(単位:m ²)		
特記事項	今後合志事業所の稼働が本格化していくため、全社的には温室効果ガスの排出量増加を見込んで目標を設定しました。一方で、省エネ機器への切り替えや、クールビズの徹底等により温室効果ガス排出の抑制に努めてまいります。				

- 備考
- のある欄には、該当する欄内に「レ印」を記入してください。
 - 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
 - 「基準年度」とは、原則、計画期間の前年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。この場合、計画期間の前年度の実績を「前年度の実績」欄に記入してください。
「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
 - 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とします。
 - 原単位による目標を設定する場合は、「原単位温室効果ガス算定排出量」欄を記入してください。
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
 - 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。